学校運営協議会　会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第８条第１項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

１　会 議 名　　飛騨特別支援学校　学校運営協議会　　（第１回）

２　開催日時　　令和４年６月２０日（月）　９：３０～１１：３０

３　開催場所　　飛騨特別支援学校　プレイルーム

４　参 加 者

会　　長	白田　美樹	高山日赤分校ＰＴＡ代表
副 会 長	河野　知子	本校ＰＴＡ会長
委　　員	塩谷　雅	はなさと町づくり協議会会長（欠席）
	桑原　宏之	新宮町づくり協議会会計　（欠席）
	坂下美千代	山ゆり学園園長
	窪田　哲	高山市社会福祉協議会会長
	石原　隆博	高山市福祉部福祉課課長　（欠席）
	柏木　真司	ウエルコミュニティ飛騨理事長
	大坪希美枝	環境ネット（株）サービス管理責任者
	嶋田喜美子	高山市民防災研究会　防災士
学 校 側	竹田万里子	校長
	渡辺　敏昭	事務部長
	清水　栄枝	高山日赤分校副校長兼高等部主事
	太田　浩司	本校教頭
	道下亜紀子	本校小学部主事
	長瀬美智代	本校中学部主事
	奥田　和代	本校高等部主事
	松橋　美雪	高山日赤分校小中学部主事

５　会議の概要（協議事項）

（１）　会長・副会長の選出について

→　全委員より承認が得られた。

会　長：　白田　美樹（高山日赤分校ＰＴＡ代表）

副会長：　河野　知子（本校ＰＴＡ会長）

（２）令和４年度学校経営計画及び組織編成について

意見１：児童生徒は、幼児期から保育士や看護師など女性との関わりが多いが、職員の比率として男性が少ない。男女平等社会の観点から、学校では男性と関わる機会も作っていけるとよい。

意見２：成人年齢の引き下げにより、消費者教育とともに主権者教育が大切になるが、学校ではどのように取り組んでいるか。

⇒学校で期日前投票を行っている。高等部では、模擬投票を行ったり、それを機

会に学習をしたりしている。また、生徒会選挙において、「みんなで選んで、みんなで決める」ということを重点にして実践している。

意見３：防災の観点から、普段から教材等を整理し、廊下をすっきりさせることで、いざというときにスムーズに避難できるように対策することが必要である。
また、避難した後も安全を守れる場所はどこか、どうやって保護者に引き継ぐのかを検討しておくことが必要である。

意見４：キャリア教育では、自己肯定感を育むことが大切である。教員が客観的な評価を児童生徒にフィードバックすることで、自信をつけさせていくとよい。また、「どんな人になりたいか」という思いを育むことで、将来への意欲や生き方につながっていくのではないか。

（３）教育課程の編成について

（４）本校・高山日赤分校の校則について
→全委員より承認が得られた。

（５）令和４年度の働き方改革について

（６）聴覚障がい児の支援について
意見１：しっかりとしたサポートがされていてよい。広く知ってもらえるとなおよい。
意見２：幼児期から一人一人の状態に応じたコミュニケーション手段等の支援を行うことで、社会自立や就労につながっていく。

（７）授業見学（会場から Web で授業を見学）

（８）今年度の取組について　意見交流
意見１：はがきを書く学習をしていたが、大人になってからははがきよりも封書を使うことが多い。お礼状等は封書にしてはどうか。切手を貼る、紙を折って入れる等、書く以外にもいろいろな力が付けられるのではないか。
意見２：絵本の読み取りでは、絵や写真から思いをくみ取る学習をするとよい。
意見３：作品展や写真展を開催する際や命を守る訓練に地域の方の参加を呼びかける際には、まちづくり協議会でも公式ＬＩＮＥやブログを使って、周知に協力することができる。
意見４：ＳＮＳのモラルを学ぶために、学校で取組はしているのか
⇒高等部で授業を行っている。また、専門家から話を聞く機会を持っている。
意見５：現在の就職率はどれくらいか？
⇒昨年度は一般就労が１７人中３人であった。年によって生徒の実態も違うので、ばらつきがある。
意見６：体罰が社会問題となっているが、どのように防止に取り組んでいるか
⇒特別支援学校はチームで支援にあたることが基本になっている。複数で対応することで、体罰を生み出さない環境を作っている。

（９）その他
・高等部作業学習の製品価格について　→　適正な価格であるとの承認が得られた
・第２回学校運営協議会は１０月１８日（火）高山日赤分校にて実施予定。

６　会議のまとめ

・第１回学校運営協議会で、全委員より今年度の本校・高山日赤分校の学校経営及び組織編成、教育課程、校則について承認が得られた。
・高等部の製品価格について全委員より承認が得られた。
・得られた意見をもとに実践し、第２回の運営協議会で実践したことを報告、さらに検討を重ね、今後の教育活動に生かしていく。